

# 学校生活における感染症予防について

## 1. 健康観察

- ・毎日検温し、「健康観察記録表」に記入し、学校に持ってくる。
- ・朝、発熱や風邪の症状（咳、鼻水、息苦しさ、だるさ）がある場合は学校に登校しない。保護者から学校に連絡してもらう。
- ・登校したら「健康観察記録表」を確認し、朝学活の際に机上に置き、先生に確認してもらう。「健康観察記録表」を忘れた場合、検温を忘れた場合は、登校してすぐに職員室に行き、指示を受ける。
- ・登校後に、発熱がある場合や風邪の症状がひどい場合は保健室へ行き、指示を受ける。（処置後、別室に待機、保護者に連絡し、早退する。）
- ・生徒本人・同居の家族などが体調不良などによりPCR検査を受けた場合や新型コロナ感染者の濃厚接触者に特定された場合は、学校に連絡する。

## 2. 手洗い、消毒

- ・登校後は教室にカバンを置いてから、石けんで手を洗い、必要に応じてアルコール消毒をする。
- ・必ず、手拭き用タオルやハンカチを複数枚持参し使用する。ハンカチなどの貸し借りはしない。忘れた場合は先生に申し出る。
- ・給食前は必ず全員が手洗いとアルコール消毒をする。その際、密にならないように距離をとる。

## 3. マスクの着用

- ・学校生活ではマスクを必ず着用する。登下校時も着用する。登校途中や校内でマスクの破損等により着用できない場合は申し出る。学校で代わりのマスクを用意します。
- ・体育の授業などでは教科の先生の指示に従う。外す場合はファスナー付き保存袋（必ず記名する）に入れる。

## 4. 身体的距離の確保

- ・学校生活の中（教室内、廊下、流し、トイレ、下駄箱など）では、基本2m程度（最低でも1m）の距離を互いにとるようにする。

## 5. その他

- ・教室の換気に気を付ける。常時、2か所以上の窓・出入口などを開け、換気できるようにする。
- ・特別教室等に移動した際は、入室前に消毒する。退室時にも消毒する。
- ・学校生活（授業中、休み時間、給食、清掃など）の中で不必要な会話や発声はしない。
- ・鼻紙ティッシュや使用済みマスクなどのゴミは持ち帰り、自宅で捨てる。
- ・不用意に自分の机・いす・ロッカー以外のもの（友人の机・いす・階段の手すりなど）に触らない。
- ・忘れ物など、物の貸し借りはしない。筆記用具などが必要な場合は先生に申し出る。
- ・脱水症などに気を付け、水筒（水・お茶・スポーツドリンク）を持参して良い。飲む際は、教室の自席で飲む。廊下などで立ち飲みはしない。
- ・ドア・窓をあけて換気をしているので寒さを感じる生徒は、カイロやひざ掛けを使用したり、コート・学校ジャージをひざ掛けとして使用して良い。
- ・登下校時も、生徒同士で密集したりしない。会話や発声は控える。特に電車・バスなどの公共交通機関を使用する場合は、他の乗客などに配慮する。また、通学カバンは前に抱え、他の乗客などにぶつかることのないようにする。
- ・帰宅後、不要不急の外出はしない。